



## ハチはどうして人をさすの

### ハチはめったに人をささない

ハチというと、すぐ毒針をもって、人をさす危険な昆虫という感じがしますが、じつは、さす針を持っている種類は、ハチの仲間の一部です。

ハチが人をさしたりするのは、自分の巣を守るためか、自分の身が危険にあったときだけです。

春先は、どのハチも、巣作りにいっしょうけんめいですから、巣をつついたり、みつ集めをしているハチをたたいたりしない限り、ほとんど、さされることはありません。

### 夏から秋は、ハチの巣はよけて通ろう

巣がどんどん大きくなり、巣の中のハチの数が増えてくる、夏から秋にかけては、さされることが増えてきます。できるだけ、ハチの巣に近づかないようにしましょう。

とくに、気のあらいスズメバチには、近づかないようにしましょう。

うっかり1ぴきのハチをおこらせると、その興奮した羽の音に、たくさんのハチがいっせいに飛び出してきて、体中をさされるようなことになります。いちどにたくさんのハチにさされると、ショック死することがあるので、こわいのです。

### ハチにさされたときは

1ぴきにさされたくらいなら、水でさされた所をよく洗って、毒を洗いおとし、抗ヒスタミンのぬり薬をぬっておけば、たいていだいじょうぶです。痛みやしびれが、時間がたってもひどいときは、お医者さんにみていただきましょう。

ハチによく似ていて、人を追いかけてきてさすのはアブです。カと同じように血を吸い、さされると、長い間、かゆみが続きますから、ご用心。(監修・中山 周平)

